

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL http://www.akikawabokuen.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,085	4.4	124	57.3	129	70.6	90	92.9
28年3月期第3四半期	3,912	7.2	78	46.0	75	55.3	46	35.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 96百万円 (100.4%) 28年3月期第3四半期 48百万円 (14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.59	—
28年3月期第3四半期	11.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	4,331	1,482	34.2	355.27
28年3月期	4,170	1,402	33.6	336.13

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,482百万円 28年3月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	4.2	130	47.3	130	49.3	70	30.9	16.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	4,179,000株	28年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	7,510株	28年3月期	7,510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	4,171,490株	28年3月期3Q	4,171,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国の経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果が下支えするなかで、緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、英国のEU離脱、中国を始めとする新興国の景気の減速、米国の政権移行等の影響により、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、個人消費が伸び悩むなど依然として厳しい環境にありますが、高齢化が進む中での健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は年々高くなっております。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売は前年並みに推移し、一昨年12月から本格的にスタートした通販事業を行う会社向けの販売効果から、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加がありましたが、冷凍食品工場の生産性向上、飼料原料価格の値下がり等により増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、40億85百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は1億24百万円(前年同期比57.3%増)、経常利益は1億29百万円(前年同期比70.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円(前年同期比92.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵、牛乳等で構成される生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が前年並みに推移したため、売上高は微増となりました。利益面につきましては、冷凍食品工場の生産性向上、飼料原料価格の値下がり等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、32億28百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は3億37百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長したことや、一昨年12月から本格的にスタートした通販事業を行う会社向けの販売効果により売上高は増加いたしました。利益面につきましては、上記の売上高の増加がありましたが、運賃や会員募集費等の販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、8億57百万円(前年同期比21.3%増)、営業利益は9百万円(前年同期比44.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億61百万円増加し、43億31百万円となりました。これは主に売掛金が2億9百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、28億49百万円となりました。これは主に若鶏増産のための鶏舎の設備投資等による短期借入金35百万円の増加及び、長期借入金19百万円の増加であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、14億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,679	668,441
受取手形及び売掛金	598,539	807,720
有価証券	20,482	—
商品及び製品	124,583	121,715
仕掛品	181,112	146,875
原材料及び貯蔵品	67,269	88,254
繰延税金資産	29,120	15,303
未収入金	92,852	121,705
その他	19,406	21,355
貸倒引当金	△2,365	△2,392
流動資産合計	1,969,682	1,988,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	703,146	774,244
機械装置及び運搬具(純額)	325,705	367,294
土地	901,743	904,510
建設仮勘定	36,767	19,816
その他(純額)	85,907	107,714
有形固定資産合計	2,053,270	2,173,580
無形固定資産		
のれん	34,355	31,619
その他	25,809	27,401
無形固定資産合計	60,164	59,020
投資その他の資産	87,642	110,276
固定資産合計	2,201,077	2,342,877
資産合計	4,170,760	4,331,856
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	380,077	403,261
短期借入金	946,879	981,894
リース債務	12,388	9,732
未払法人税等	32,614	29,217
賞与引当金	33,060	17,025
その他	278,846	294,779
流動負債合計	1,683,867	1,735,909
固定負債		
長期借入金	773,051	792,795
リース債務	13,743	25,490

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
繰延税金負債	20,899	14,514
退職給付に係る負債	228,915	230,389
役員退職慰労引当金	48,119	50,667
固定負債合計	1,084,729	1,113,857
負債合計	2,768,596	2,849,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	127,306	200,666
自己株式	△4,381	△4,381
株主資本合計	1,390,516	1,463,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,647	18,127
その他の包括利益累計額合計	11,647	18,127
非支配株主持分	—	86
純資産合計	1,402,163	1,482,089
負債純資産合計	4,170,760	4,331,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,912,736	4,085,541
売上原価	2,998,395	3,032,396
売上総利益	914,341	1,053,145
販売費及び一般管理費	835,363	928,891
営業利益	78,977	124,253
営業外収益		
受取利息	293	168
受取配当金	1,078	1,212
補填金収入	2,044	3,798
補助金収入	2,142	4,106
その他	2,646	5,080
営業外収益合計	8,205	14,366
営業外費用		
支払利息	11,407	9,337
その他	65	102
営業外費用合計	11,473	9,439
経常利益	75,710	129,180
特別利益		
固定資産売却益	1,037	2,648
補助金収入	—	45,764
特別利益合計	1,037	48,412
特別損失		
固定資産売却損	1,278	51
固定資産除却損	2,807	5,522
固定資産圧縮損	—	45,764
特別損失合計	4,086	51,337
税金等調整前四半期純利益	72,660	126,256
法人税、住民税及び事業税	27,882	36,996
法人税等調整額	△1,854	△872
法人税等合計	26,027	36,123
四半期純利益	46,632	90,132
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,668	90,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	46,632	90,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,582	6,479
その他の包括利益合計	1,582	6,479
四半期包括利益	48,215	96,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,250	96,526
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,206,203	706,532	3,912,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215,627	1,577	217,205
計	3,421,831	708,110	4,129,941
セグメント利益	266,395	16,274	282,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	282,670
のれんの償却額	△2,736
全社費用(注)	△200,956
四半期連結損益計算書の営業利益	78,977

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,228,210	857,330	4,085,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251,593	1,347	252,940
計	3,479,804	858,677	4,338,481
セグメント利益	337,582	9,074	346,656

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	346,656
のれんの償却額	△2,736
全社費用(注)	△219,666
四半期連結損益計算書の営業利益	124,253

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。